

ABC 検診(胃がんリスク検診)

ABC 検診（胃がんリスク検診）とは？

ABC 検診とは血液検査で行う胃がんリスク検査です。採血で行う検査のため身体への負担が少なく、検査時間も短くなります。

胃潰瘍や十二指腸潰瘍の主な原因と考えられているヘリコバクター・ピロリ菌の抗体価検査と胃粘膜萎縮（老化）マーカーのペプシノゲン検査を組み合わせ、胃の健康度を ABC の 3 群に分類し、胃がんが発生しやすい状態かどうかを調べます。

●ヘリコバクター・ピロリ抗体価検査

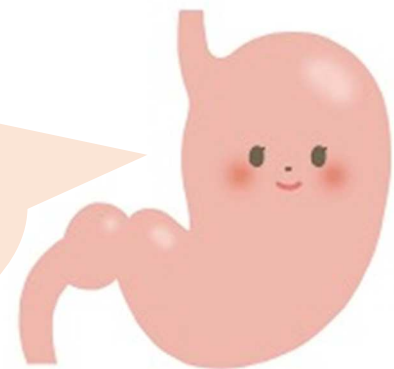
胃がヘリコバクター・ピロリ菌に感染していないかを調べる検査

●ペプシノゲン検査

食べ物の消化に関与する「ペプシノゲン」という物質の血中濃度を調べることで胃粘膜の萎縮の状態を調べる検査

こんな方におすすめ

- 胃バリウム検査や胃カメラ検査に不安を感じる方、アレルギー等により検査が実施できない方
- 胃の検査がない健診（定期企業健診、特定健診など）を受診の方
- 妊娠中の方



胃がん検診に代わるものではありません！

ABC 検診は胃がん検診に代わるものではありません。

あくまで「胃粘膜が胃がんの発生しやすい状態かどうか」を調べる簡易検査で、現在胃がんがあるかどうかを調べる検査ではありません。現在胃がんがあるかどうかを調べる場合は「胃バリウム（上部消化管 X 線）検査」または「胃カメラ（上部消化管内視鏡）検査」を受診してください。

※以下に該当される方は正しい判定ができない可能性がありますのでご注意ください！

- ピロリ菌の除菌治療を受けた方
- 胃の切除術を受けた方
- 食道や胃、十二指腸疾患で治療中の方
- 胃酸を抑える薬を服用中の方
- 腎不全の方、透析を受けている方

■料金

3,300 円（税込）